



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月29日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9679 U R L <https://www.horai-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部長 (氏名) 田鹿 良 T E L 03-6810-8115
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の業績 (2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年9月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	1,625	17.3	232	121.5	281	109.0	190	194.6
	1,386	5.3	105	△27.8	134	△28.5	64	△50.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年9月期第1四半期	円 銭 45.37	円 銭 —
2025年9月期第1四半期	15.40	—

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年9月期第1四半期	百万円 19,491	百万円 9,984	% 51.2
2025年9月期	19,706	9,865	50.1

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 9,984百万円 2025年9月期 9,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 24.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)		0.00	—	24.00	24.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年9月期については、株式分割後の配当の額を記載しております。

3. 2026年9月期の業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 6,200	% 1.4	百万円 630	% 2.1	百万円 730	% △0.7	百万円 500	% 0.4	円 銭 119.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年9月期 1Q	4,212,000株	2025年9月期	4,212,000株
2026年9月期 1Q	23,925株	2025年9月期	23,925株
2026年9月期 1Q	4,188,075株	2025年9月期 1Q	4,188,227株

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期貸借対照表に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が期待される中、緩やかな回復が続きました。個人消費は持ち直しの動きが見られ、設備投資は穏やかに持ち直しました。一方で、アメリカの通商政策の動向、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響から、不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。

当第1四半期累計期間の経営成績は、営業収益につきましては、全事業で前年同期を上回り、全体では1,625百万円（前年同期比239百万円増）となりました。営業総利益につきましても、全事業で前年同期を上回り、全体では422百万円（前年同期比125百万円増）となりました。一般管理費は190百万円（前年同期比2百万円減）と前年同期を下回り、営業利益は232百万円（前年同期比127百万円増）となりました。営業外収益に計上したゴルフ会員権消却益は44百万円（前年同期比12百万円増）と前年同期を上回り、経常利益は281百万円（前年同期比146百万円増）、四半期純利益は190百万円（前年同期比125百万円増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

①保険事業

リスク管理の専門家としての強みを活かして、お客様に寄り添ったコンサルティングを推進するとともに、リスク管理パートナーとしての総合提案力の深化や、継続的な成長を実現し得る組織・体制の強化に努めました。

営業収益は、生命保険分野において新たにいただいたご契約が増加し、損害保険分野においても期日を迎えたご契約の更改が順調に進んだことから、前年同期比63百万円増加し306百万円となりました。

営業原価は人件費等の増加を主因に前年同期を上回り、営業総利益は118百万円（前年同期比55百万円増）となりました。

②不動産事業

テナント様・入居者様に「安心安全」かつ「快適」な空間のご提供に努め、賃貸不動産の入居率はほぼ満室状態で安定的に推移し、営業収益は326百万円（前年同期比4百万円増）となりました。営業原価は、前期に実施したエネルギー効率が高く環境に優しい空調機器への更新に伴う減価償却負担の増加等により前年同期を上回り、営業総利益は196百万円（前年同期比1百万円増）となりました。

③千本松牧場

観光施設においては、2024年10月にファームショップ（売店）・ファームレストランのリニューアルを実施し、2025年4月にグランドオープンを迎えたことでご来場者数が増加しました。当第1四半期においても引き続き多くのお客様にご来場いただき、リニューアルに伴う広大な景観などを楽しんでいただいております。地域と連携した各種イベントの開催やSNS等での情報発信に力を入れたことに加え、多くのメディアで話題になったこともあって、前年同期比概ね1.4倍の増収となりました。

牧場外のソフトクリームショップは、2025年11月に埼玉県羽生市のイオンモール羽生に6店舗目をオープンし、既存店を含めてお客様に大変ご好評をいただいており、前年同期比増収となりました。

外販営業は、地元量販店向け売上の減少を主因として、前年同期比減収となりました。

酪農は、搾乳牛頭数及び搾乳量の増加により、前年同期比増収となりました。

この結果、営業収益は全体で740百万円（前年同期比158百万円増）となり、営業原価は施設のリニューアルに伴う費用計上等を主因に前年同期を上回り、営業総利益は92百万円（前年同期比65百万円増）となりました。

④ゴルフ事業

ゴルフ場の基盤であるコースコンディションの維持・向上に引き続き取り組み、ご来場者様から高くご評価いただきました。

また、ホームページの見やすさ向上、SNSやメール配信システムの積極的活用、魅力ある平日プランのご提供等の情報発信に力を入れるとともに、会員様へのサービス充実、大学ゴルフ部の合宿誘致、地元の企業様へのアプローチ、西那須野カントリー倶楽部での市民ゴルフ大会の連続開催等で、より多くの方にご来場いただけるよう取り組みました。

これに加えて、ホウライカントリー倶楽部において2026年2月に導入予定のフェアウェイ乗り入れ可能な一人乗りゴルフカートの準備を進めました。

当第1四半期累計期間のご来場者数は前年同期を上回り、営業収益は252百万円（前年同期比13百万円増）となりました。営業原価は人件費の増加及びコース整備や施設改修に関わる費用を主因に前年同期を上回り、営業総利益は15百万円（前年同期比3百万円増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における総資産は、19,491百万円となり、前事業年度末比215百万円減少しました。

流動資産は、現金及び預金の減少を主因に前事業年度末比327百万円減少し、2,425百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加を主因に前事業年度末比112百万円増加し、17,065百万円になりました。

負債は、流動負債のその他に含まれる未払金の減少を主因に、前事業年度末比334百万円減少し、9,506百万円になりました。

純資産は、四半期純利益の計上を主因に、前事業年度末比119百万円増加し、9,984百万円になりました。自己資本比率は51.2%と、前事業年度末比1.1ポイント上昇しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年10月31日の「2025年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,940,471	1,687,595
売掛金	413,533	314,052
商品及び製品	145,932	151,032
仕掛品	8,667	20,673
原材料及び貯蔵品	58,444	79,388
その他	186,069	173,092
貸倒引当金	△46	△44
流動資産合計	2,753,072	2,425,790
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,665,785	4,646,415
土地	9,147,406	9,147,406
その他（純額）	2,034,739	2,105,505
有形固定資産合計	15,847,931	15,899,328
無形固定資産	43,175	59,778
投資その他の資産	1,062,641	1,106,870
固定資産合計	16,953,748	17,065,977
資産合計	19,706,820	19,491,768
負債の部		
流動負債		
買掛金	138,485	138,646
未払法人税等	99,153	59,244
1年内返済予定の長期借入金	120,800	120,800
引当金	160,708	40,104
その他	988,260	848,414
流動負債合計	1,507,408	1,207,210
固定負債		
長期預り保証金	5,175,238	5,089,269
長期借入金	2,858,400	2,848,000
引当金	93,140	101,383
資産除去債務	104,350	104,602
その他	103,253	156,434
固定負債合計	8,334,382	8,299,689
負債合計	9,841,790	9,506,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	4,607,250	4,696,768
自己株式	△19,817	△19,817
株主資本合計	9,455,035	9,544,553
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	409,994	440,315
評価・換算差額等合計	409,994	440,315
純資産合計	9,865,029	9,984,868
負債純資産合計	19,706,820	19,491,768

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
営業収益	1,386,151	1,625,904
営業原価	1,088,706	1,202,932
営業総利益	297,445	422,971
一般管理費	192,386	190,272
営業利益	105,059	232,699
営業外収益		
受取利息	62	1
受取配当金	7,156	10,629
会員権消却益	32,000	44,975
その他	5,180	4,040
営業外収益合計	44,398	59,646
営業外費用		
支払利息	8,363	8,626
乳牛除壳却損	6,343	2,302
その他	197	136
営業外費用合計	14,904	11,066
経常利益	134,552	281,279
特別利益		
固定資産売却益	299	—
特別利益合計	299	—
特別損失		
固定資産除壳却損	51,528	1,473
特別損失合計	51,528	1,473
税引前四半期純利益	83,323	279,805
法人税、住民税及び事業税	2,914	46,343
法人税等調整額	15,909	43,430
法人税等合計	18,824	89,773
四半期純利益	64,499	190,031

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自2024年10月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険事業	不動産 事業	千本松牧場	ゴルフ 事業	計		
営業収益							
顧客との契約から生じる収益	242,802	4,811	578,946	239,209	1,065,769	—	1,065,769
その他の収益（注）3	—	317,628	2,754	—	320,382	—	320,382
外部顧客への営業収益	242,802	322,439	581,700	239,209	1,386,151	—	1,386,151
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	1,159	—	1,159	△1,159	—
計	242,802	322,439	582,859	239,209	1,387,310	△1,159	1,386,151
セグメント利益	62,272	195,581	27,049	12,542	297,445	△192,386	105,059

- (注) 1. セグメント利益の調整額△192,386千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自2025年10月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	保険事業	不動産 事業	千本松牧場	ゴルフ 事業	計		
営業収益							
顧客との契約から生じる収益	306,684	5,439	736,753	252,662	1,301,539	—	1,301,539
その他の収益 (注)3	—	321,103	3,261	—	324,364	—	324,364
外部顧客への営業収益	306,684	326,543	740,014	252,662	1,625,904	—	1,625,904
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	1,247	—	1,247	△1,247	—
計	306,684	326,543	741,262	252,662	1,627,151	△1,247	1,625,904
セグメント利益	118,001	196,625	92,566	15,777	422,971	△190,272	232,699

- (注) 1. セグメント利益の調整額△190,272千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

1 現金及び預金

前事業年度（2025年9月30日）

現金及び預金のうち122,832千円は、当社が損害保険代理店として、保険契約者より領収した損害保険料を損害保険会社に納付するまでの一時預り金であり、資金使途が制限されており専用口座に別途保管しております。

当第1四半期会計期間（2025年12月31日）

現金及び預金のうち61,744千円は、当社が損害保険代理店として、保険契約者より領収した損害保険料を損害保険会社に納付するまでの一時預り金であり、資金使途が制限されており専用口座に別途保管しております。

2 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年12月31日)
建物	2,016,417千円	1,987,685千円
構築物	782	760
機械及び装置	5,648	5,402
土地	4,141,256	4,141,256
合計	6,164,104	6,135,105

担保付債務は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年12月31日)
1年内返済予定の長期借入金	120,800千円	120,800千円
長期借入金	2,858,400	2,848,000
合計	2,979,200	2,968,800

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	106,388千円	120,734千円